

学生の修学、進路選択、心身の健康等に係る支援

【メンタルヘルスなどの組織とその機能】

充実した学生生活を送るために、心身ともに健康であることが大切である。

保健室では、毎年全学生を対象に定期健康診断を実施。その結果、異常ありと判断された場合、再検査、精密検査をすすめ、病気の早期発見、早期治療を受けられるよう指導を行っている。また、入学時には、新入生健康調査を通して既往歴や現在治療中の病気を調査し、面談・保健指導を行っている。

さらに、学生のさまざまな相談にも対応している。近年は、相談件数が増加するとともに、内容も多様化しており、相談内容等で学生相談室へ繋ぐインテークの役割をしている。学生相談室の体制は、臨床心理士2名、教員兼相談員1名、校医1名、スーパーバイザーとして精神科医1名で行っています。保健室、学生相談室、学生室、教務室、キャリア支援室と学生対応窓口になっている部署との連携を取りながら、学生支援に努めている。

また、本学では、教職員を対象に知識を深め、学生に対する早めの対応、支援を行えるよう、さらなる理解と協力を得ることを目的とした勉強会を年1回開催している。

学生がより充実して過ごせるよう、学内連携を強化しながら学生支援に努めている。